

スマートシティの実現に向けた技術提案書

様式1

提出年月日: 2020 年 3 月 6 日

提案団体名: 野村不動産株式会社 (複数団体による提案も可とします)

○提案内容

(1) 自社の保有するスマートシティの実現に資する技術と実績等
 ※スマートシティの実現に資する技術については、別紙の(1)～(7)の技術分野への対応を記載ください

技術の概要・実績等	技術の分野
(3) データ保有 ・2019年11月にOPENした、「H'O日本橋室町」より、IoTプラットフォームを活用したスマートビル化に着手 ・物件の機器情報やテナントの利用状況データを取得、一元管理 ・2020年3月に一棟目の引き渡しを予定している「プラウドシティ日吉(全3棟)」にて、スマートコミュニティの連携・協力に関する協定をもとに、当該エリア内に設置した分散型電源で発電された電力をエリア全体で融通する等、当該エリア全体でのエネルギーマネジメントを通じ、平常時のエネルギー消費量およびCO2排出量の削減を目指す。蓄電池や分散型電源を活用することで、一部の施設において災害時においても電気の使用が可能となる。 さらに、オリジナルで開発したスマートマンションアプリを導入・提供。玄関の施錠や湯張り、エアコン制御が可能。共用施設の予約や街の情報もアプリで操作・確認も可能。位置情報通知機能もある。	(3)
(4) データプラットフォーム ・当社商品向けに、IoTプラットフォームをカスタマイズして活用中(中央監視のクラウド化など)	(4)
(5) データの活用(可視化技術・先進技術等) ・利用状況の見える化(トイレの満空表示、共用部の利用状況見える化) ・機器異常や状態異常時における状態見える化および発報による遠隔からの異常検知 ・他、データ分析による事業者側およびユーザー側ベネフィット実現を構想中 ・ビル内運営管理にて清掃ロボットなどの活用実証 ・VR内見技術活用による、住宅仲介サービス提供	(5)

(2) (1)の技術を用いて解決する都市・地域の課題のイメージ
 ※課題については、別紙の(ア)～(シ)の課題分野への対応を記載ください

解決する課題のイメージ	課題の分類
(イ) エネルギー ・利用状況に合わせた設備制御、予測制御を実現することで、利用者が我慢しない省エネの実現	(イ)
(ウ) 防災 ・防災対応力強化(蓄電池や分散型電源の活用)	(ウ)
(カ) 健康・医療 ・トイレ個室の長時間在室等、利用状況の異常状態検知による事故予防	(カ)
(キ) 生産性向上 ・遠隔監視、群管理(群監視) ・生産年齢人口減を見据えた管理および清掃業務の効率化	(キ)
(ク) 環境 ・エリア全体でのエネルギーマネジメントを通じ、平常時のエネルギー消費量およびCO2排出量の削減	(ク)
(サ) コンパクトなまちづくり ・豊かなライフスタイル・ワークスタイルの実現 ・利便性、快適性、安心・安全に優れた多機能な街づくり ・地球環境・地域社会の未来を見据えた街づくり ・コミュニティ形成、良質な商品・サービスのグローバル展開	(サ)

(3) その他

※(1)(2)について、複数ある場合は項目毎に対応の記載をお願いします。

※既に構想中、実施中のプロジェクトがある場合は、別途そのプロジェクト単独での提案も可能です。

○部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)

部局名	担当者	連絡先(電話)	連絡先(メール)
都市開発事業本部 企画室	古澤 悠貴	03-3348-8122	y-furusawa@nomura-re.co.jp